

令和5年10月10日 第6回審議会

用語解説

第6章

○【リデュース】

環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄、非効率的、必要以上の消費、生産を抑制あるいは行わないこと。

○【リユース】

一度使用された製品を、そのまま、もしくは製品のあるモジュール（部品）をそのまま再利用すること。

○【聖地（霊園）】

墓地の区画を表す表現。

○【残さず食べよう！30・10運動】

食べられる食品が捨てられてしまう「食品ロス」の削減を目的とした呼びかけ。特に食べ残しが多い宴会料理の食べ残しを出さないために開宴後の30分間は「あじわいタイム」として、最後の10分間は「食べきりタイム」として、自席で食事を味わう時間としている。

○【リノベーション】

既存建築物に大規模な改修工事を行い、性能を向上させたり、付加価値を与えること。用途や機能を変更することも多い。

○【空き家バンク】

地方公共団体や民間企業が、地域内にある空き家の流通・活用促進を目的として、土地家屋の所有者から集めた情報をウェブサイトなどで公開し、購入・居住希望者に

提供する制度。

○【クリプトスポリジウム】

ヒトを含む脊椎動物の消化管などに寄生し、下痢や腹痛、嘔吐等を引き起こすクリプトスポリジウム症の原因原虫。

○【グリーンベルト】

歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、車のドライバーに路側帯であることを視覚的に認識させ、車両の速度を抑制させるとともに通行帯を明確にすることで、歩行者との接触事故を防ぐもの。

○【フォーラム】

フォーラムディスカッションの略。示された話題について出席者全員が討議に参加するもの。公開討論会。

○【ドアツードア】

ドアからドアまでを意味し、出発点から目的地までをそのまま結ぶこと。

○【ライドシェア】

自動車の相乗りの需要を結び付ける配車システムの総称。携帯端末を通じて配車を依頼すると、端末の位置情報機能により付近の迎車可能な車両が手配される。配車される車両は、運転手として登録した一般人の自家用車で、手配した側は迅速に自動車を利用することができ、運転する側は空いた時間を使って送迎を行い、収入を得る仕組み。

○【地域防災コーディネータ】

地域の防災活動において、地域と行政、

ボランティア組織等との連絡調整を担う。

○【避難行動要支援者】

災害時に、必要な情報の迅速な把握や安全な場所への避難など、災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人。

○【田んぼダム】

小さな穴の開いた調整板などの簡単な器具を水田の排水口にとりつけて流出量を抑えることで、水田の雨水貯留機能の強化を図り、周辺の農地・集落や下流域の浸水被害リスクの低減を図る取組。

○【長野県民交通災害共済事業】

県内15市が共同で行っている事業で、会員が交通事故にあった時に、会費の中から見舞金を支払う制度。

○【青色防犯パトロール】

自動車に青色回転灯を装備した車両を使って行う自主防犯パトロールのこと。

○【全国瞬時警報システム（Jアラート）】

緊急地震速報等の自然災害情報や、弾道ミサイル情報等の国民保護情報といった対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を、消防庁から人工衛星及び地上回線を用いて送信し、市区町村の同報系防災行政無線等を自動的に起動させることにより、住民に瞬時に伝達するシステム。